

茨城県立高萩高等学校 グランドデザイン 2022



□ 学校教育目標 伸ばそうみんなの良いところ！愛そう私の良いところ！

- 1 生徒と教職員がお互いを信頼し、協働して成長できる学校
- 2 一人一人の多様性を認め、個に応じた支援を図り、誰にでも居場所があり、安心して自己実現を図れる学校
- 3 柔軟なカリキュラムで、希望に応じた進路実現を目指し、主体的な学習や体験を通し、社会性や勤労観を育む学校

□ 令和4年度 重点目標・・社会に貢献できる人材の輩出

- 1 個々の資質能力を伸ばせる学校づくり
- 2 3(4)年間を見据えたカリキュラムの運用と研究
- 3 地域との連携・協働と地域への貢献
- 4 規範意識を高め、社会性を身に付けさせる

□ 心の教育の充実と絆づくり

- 3(4)年間を通した心の成長を目指す教育課程
- 「道徳」「道徳プラス」を活かした心の教育の充実
- 体験型授業・行事を通して、生徒相互・教職員の結びつきを強め、互いに信頼して成長できる学校を目指す

□ 地域との連携と地域貢献

- 地域と連携した防災関連行事(避難訓練・炊き出し体験)
- 地域資源の活用(野外体験、インターンシップ)
- 地域行事へのボランティア参加
- 地域の抱える課題を探究

□ 何ができるようになるか・・学習の手立て

- 「わかる授業」を通して、基礎学力の定着を図る
- 「主体的・対話的で深い学び」の実践
アクティブ・ラーニングの推進
→自分で考え判断する力、協力して課題を解決する力
自分の考えを相手に伝える力を身に付ける
- 体験型の授業・行事・自己達成感を持ち、自己表現する力を養う



□ 何が身についたか・・学習評価の在り方

- 観点別学習状況評価
- 生徒個人の学びの成長がわかる、ポートフォリオ型の評価
↓
【教員の授業改善につながる学習評価】

□ 生徒の実態

- ・おとなしく、素直な生徒が多い
- ・特別な支援が必要な生徒が多く、多方面からのケアが必要
- ・不登校経験者が多く、高校での学び直しを期待している
- ・与えられた課題はできるが、自ら課題を見出す力が弱い

□ 発達をどのように支援するか

- ・個に応じたきめ細かな指導
- ・不登校傾向の生徒への支援
- ・教育相談体制の充実
*SC・SSW・CAの活用
- ・地域との連携強化
チーム学校の体制強化

□ 目指す生徒の姿

- ・自分の意見を他者に伝え、他者の意見を聞き、課題を解決しようとする生徒
- ・地域・社会の課題に関心を持ち、自己の能力を活かして、社会貢献できる生徒
- ・他者と協働して、課題解決を図っていく生徒

□ 何を学ぶか (特色ある学び)

- 〈多様な学校設定科目から、自己の特性に合った科目選択〉
- ・体験型の学習(リズムエクササイズ、日本の伝統文化《茶道・華道・書道》、折り紙)
- ・異文化理解(韓国の言語と文化1・2)
- ・基礎学力定着(基礎数学、基礎から学ぶ英語、基礎国語Ⅰ、ベーシック社会など)
- 〈フレックスならではの科目〉
- ・ライフスキルを高める心理学・人間関係の構築
- ・魅力！いばらきの農業・生産、収穫を通して達成感を得る

□ どのように学ぶか (学びのスタイル)

- 〈主体的・対話的で深い学びの実践〉
- ・常に自分の頭の中をアクティブに働かせながら学習する
- ・ICTを活用して、主体的に学習する
- ・他者の意見を聞き、他者と協力して課題を解決する
- ・言語活動を通して、コミュニケーション能力を高める
- ・総合的な探究の時間を活用して、自己を見つめ、社会を知り、自ら貢献できる力を3年間かけて積み上げる。

□ 実施するために何が必要か (教職員のスキルアップと地域連携)

- ・教職員のスキルアップを目指す研修への積極的参加
- ・地域との連携強化(人的・物的体制の強化)
- ・教育相談体制の充実(*SC・SSW・CAの活用)
- ・学校評議員・保護者からの学校評価の利活用
- ・校内研修の充実(授業と評価に関する研修)
- ・チーム学校の体制強化(地域・保護者・教職員との連携)
- ・子供と向き合う時間の確保(業務の効率化・勤務の適正化)
- ・異校種間との相互授業研修の実施

□ 安心・安全の確保 (防災教育)

- ・年2回の防災避難訓練
- ・「高萩高校《防災の日》」として、防災講習等を実施。防災意識を育て、地域防災の担い手を育成する。
- ・毎月「マナーアップ週間」を設定

□ 地域に開かれた学校づくり

- ・年2回の学校説明会(保護者・中学生・中学校教員)
- ・中学校、特別支援学校との相互授業研修
- ・地域行事へのボランティア派遣
- ・地域と連携した防災行事

*SC：スクールカウンセラー ・SSW：スクールソーシャルワーカー ・CA：キャンパスエイド(大学生等)

令和4年度 茨城県立高萩高等学校 「三つの方針」

三つの方針 (スクール・ポリシー)	内 容
育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	① 自分の意見を他者に伝え、他者の意見を聞き、課題を解決しようとする人材 ② 地域・社会の課題に関心を持ち、自己の能力を活かして、社会貢献できる人材 ③ 他者と協働して、課題解決を図っていく人材
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	① 多様な学校設定科目から、自己の特性に合った科目選択 ・体験型の学習(リズムエクササイズ、日本の伝統文化《茶道・華道・書道》、折り紙) ・異文化理解(韓国の言語と文化1・2) ・基礎学力定着(基礎数学、基礎から学ぶ英語、基礎国語Ⅰ、ベーシック社会など) ② フレックスならではの科目 ・ライフスキルを高める心理学・人間関係の構築 ・魅力！いばらきの農業・生産、収穫を通して達成感を得る ③ 柔軟なカリキュラムで、主体的な学習や体験を通し、社会性や勤労観を育み、希望に応じた進路実現を目指す
「入学者の受入れに関する方針」 (アドミッション・ポリシー)	① 自分の得意・苦手を理解し、得意をさらに伸ばし、苦手を克服しようとする生徒 ② 自分の進路実現を目指し、日々努力する生徒 ③ 学校や社会の規範を守って日常生活を送ることができ、学校行事、生徒会活動、部活動などに積極的に取り組む意欲のある生徒